

七郷小学校からの報告

活動団体名： 七郷小学校 3年生

活動人数： 20人（教員1名）

取組時間：総合の時間

1回目：5月18日（月） 高月町東物部集落内の川（前川） 晴れ 2回目：5月18日（月） 高月町東物部集落内の川（中川） 晴れ
3回目：6月8日（月） 高月町東物部集落内の川 晴れ

調査内容

「七郷環境調査隊」として、東物部を流れる2カ所の川（前川・中川）の調査と唐川を流れる川（赤川）の水生生物の調査を行いました。

活動当日は、水生生物に詳しい外部講師の方や地域の方に来ていただいて、生き物の探し方や道具・採集の仕方や水生生物の名前・特徴について教えていただきました。

採取の方法として、ザルや網を用いて、たくさんの水生生物を捕りました。そして、バケツやバットの中に、スポイトやピンセットを使って分類していきました。名前がわからない生物については、講師の先生方に聞きながら分けていきました。子ども達は、初めての活動・初めて見る生物に興味深々で、「見つけた」「これ何かな？」という声を上げながら、熱心に採集や分類を行いました。

最後に、分類したものから、結果を表にまとめ身近な川の状態を知ることができました。

ヤリタナゴは水温が高い所、アブラボテは水温が低い所に生息しているなど一つずつ生物の



特徴を教えてもらい、ハグロトンボの幼虫が羽化する所を見ることができて、子どもは大喜びでした。

調査員の感想

東物部に水生生物の調査に行きました。はじめてやったので、最初、なにをするのかあまりわからなかったけれど、やっていくうちにどこに生き物がいるかわかってきました。東物部には、少しよごれた川にいる生き物がいたけれど、他の川にはどんな生き物がいるのか楽しみです。

唐川の川には、水生生物でカワニナが多かったです。大ナマズもいて教頭先生が捕まえました。東物部にはいない水生生物がいて、びっくりしました。

（環境日記より一部抜粋）

捕まえた生き物たち

東物部集落内の川では、カワニナやシジミ類が多くいました。ヤリタナゴやドジョウ、アブラボテ、ドンコなども魚もいて、昆虫類は16種類もいました。

高月町唐川集落内の川では、カワニナが多くいました。カワムツ、ナマズ、オイカワ、ドンコ、ウグイなどの魚がいました。また、サギを見かけ、エビモやコカナダモなどの水草も発見しました。



調査のまとめ

前川の流れはゆるやかで、川底は、泥と小石や砂でした。透明な水で、においも感じませんでした。CODの値は平均8でした。中川の流れは、普通で、川底は、コンクリートと泥や砂でした。透明な水で、においも感じませんでした。CODの値は平均8でした。

しかし、指標生物としては、サワガニ、ヒロタカゲロウ類などきれいな水の中にいる生物がいる一方で、シジミ類やカワニナなど少し汚れている水の中にいる生物が多くいたことから、判定結果は、「Ⅱ少し汚れている」となりました。

赤川でも同じで、見た目やにおいは感じないけれど、ウズムシ類や2以外のトビケラ類などや、カワニナが多くいたことから判定結果は、「Ⅱ少し汚れている」となりました。

結果から、子ども達は、川をきれいにするためにゴミを捨てたりしないようにするという気持ちを強くもちました。



活動の様子



【5月18日 生き物の説明】



【5月18日 前川での活動】



【5月18日 前川での活動】



【5月18日 中川での活動】



【5月18日 東物部での温度測定】



【5月18日 道具の使い方】



【5月18日 分類の様子】



【6月8日 ハグロトンボの幼虫】



【6月8日 結果をまとめている様子】



【6月8日 生き物の捕まえ方】



【6月8日 赤川での活動】



【6月8日 分類の様子】

